

# 広島芸術学会 芸術展示《制作と思考》第11回展 「再考！人間と自然」(報告)

会期：2019(平成31)年3月5日(火)～3月10日(日)

会場：広島県立美術館 県民ギャラリー第3、第4室

広島芸術学会の「芸術展示」は、1996年から始まり、その後隔年で毎回新しいテーマを設定して、会員の美術作家たちの作品展として開催されてきている。今回の第11回展は、「再考！人間と自然」というテーマで15名の作家の21点が展示され、3月5日より6日間開催、530名の来場者があった。また3月10日には、アーティスト・トーク「自作を語る」が開催され、9名の作家たちが自作について熱く語った。参加者は作家も含めて約20名ほどであった。

そもそも今回のテーマ設定は、昨年夏に広島県内をはじめ岡山県などに甚大な被害をもたらした西日本豪雨に端を発する。さらに、関西国際空港および関西一円に高潮、暴風被害などをもたらしたスーパー台風の来襲もあり、異常気象が人間社会に襲いかかる事態も考慮に入れた。人間の経済活動がグローバルに拡大していき、自然環境に大きな負荷をかけ続け、地球規模での温暖化をもたらすようになってきたことは既に一般的な認識になっていたが、私たちの身近なところでまで災害が及び、まさに実感せざるを得なかったのが今年の豪雨の時であった。

このような時期、芸術に関わるものとして、「人間と自然」との関係をもう一度考え直す機会としなければと思い企画した。私たちに迫りくる異常な事態を、各作家たちに芸術的な感性で独創的にとらえてもらい、それを再解釈して芸術表現とし、展覧会として発信していく機会にしたいと。

今回は、どのような作品をもって作家の皆さんが参加していただけるのか不安であったが、それは杞憂にすぎなかったことは、後で実感することになる。招待と会員、合わせて15名の作家たちによる作品群を展示してみて、テーマ設定以上の広がりを感じるとともに、確かに自分自身にとっても「人間と自然」の関係を再考する良い機会となった。

招待作家として大島愛さんと尾崎公彦さんに参加していただいた。大島さんは、自分自身も消えてしまいそうなナイーヴな神経をもった自画像を描き、尾崎さんは、画一化されながらも少しでも個性を出そうとする現代の住宅像や人間像を彫刻として造っている。私は、この2人の表現によって本展の方向性の基調を作ろうとした。会員作家の皆さんの展示では、移ろいゆく自然・調和する自然像を、高地秀明さん、渋谷清さん、橋野仁史さん、范叔如さん、船田奇岑さんがそれぞれ表現し、自然の神秘性・自然の美しさを、椎木剛さん、田川久美子さん、並木貴子さんが探求し、自然に対峙する人間像を、千田禅さん、藪野圭一さんが提示し、自然の逆襲・人間の失敗を、才田博之さん、広田和典さんが鋭く描いてみせた。

来場者の皆様の声を直接聞く機会がなかったので、どのように鑑賞して頂いたのか分からないが、参加していただいた作家の皆様の受け止めは概ね好評であったと思う。少しでも記憶に残る展覧会であったとすれば企画者として嬉しく思う。私はこの芸術展示の企画に初めて関わったが、委員の皆様を始め多くの方々のご協力がなければ実現しなかった。何とか開催にこぎ着け、無事終了することができたのも皆様のお蔭である。この場をお借りして御礼を申し上げます。ありがとうございました。

(展覧会企画者 谷藤 史彦)



アーティスト・トーク  
「自作を語る」



渋谷 清



高地 秀明



田川 久美子



椎木 剛



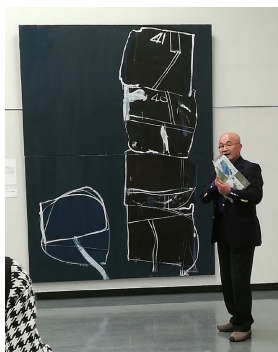
千田 禅



並木 貴子



范 叔如



広田 和典



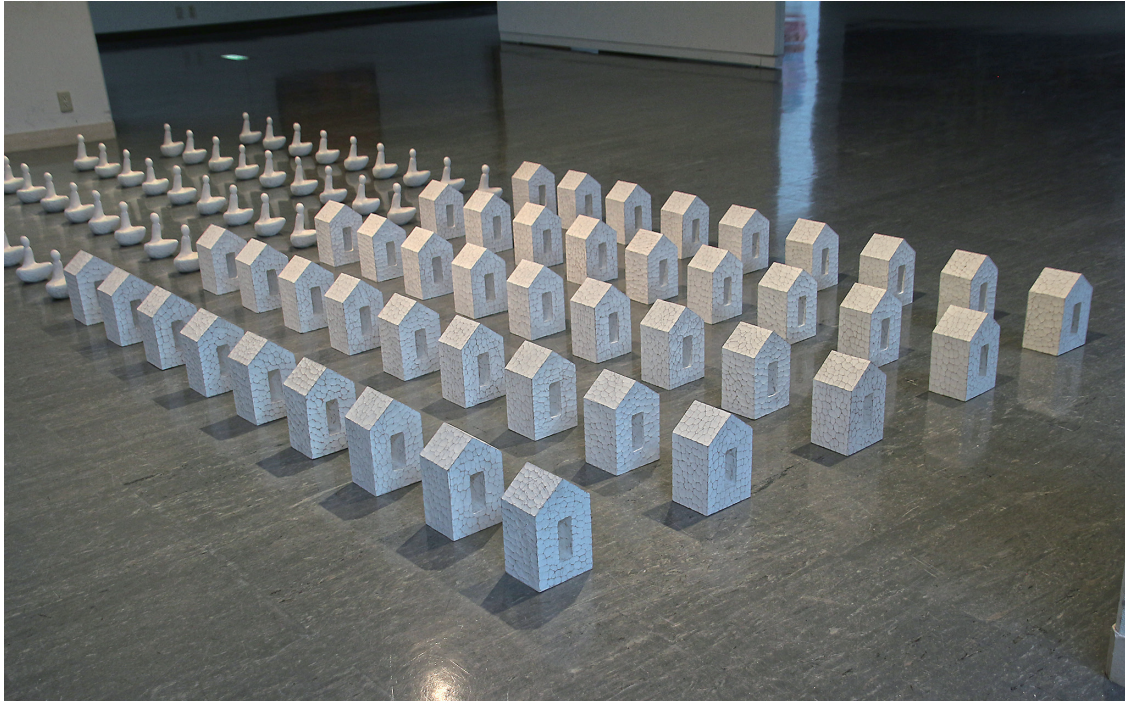
根木 達展



大島 愛「眠っている間に植物に負けていた」2009年



大島 愛  
「負けてしまえばいいのと思った」2009年



尾崎 公彦「ニュータウン」2005年～



尾崎 公彦「坐るかたち」2016年～



田川 久美子「脱皮」2018年



田川 久美子「浮遊」2018年



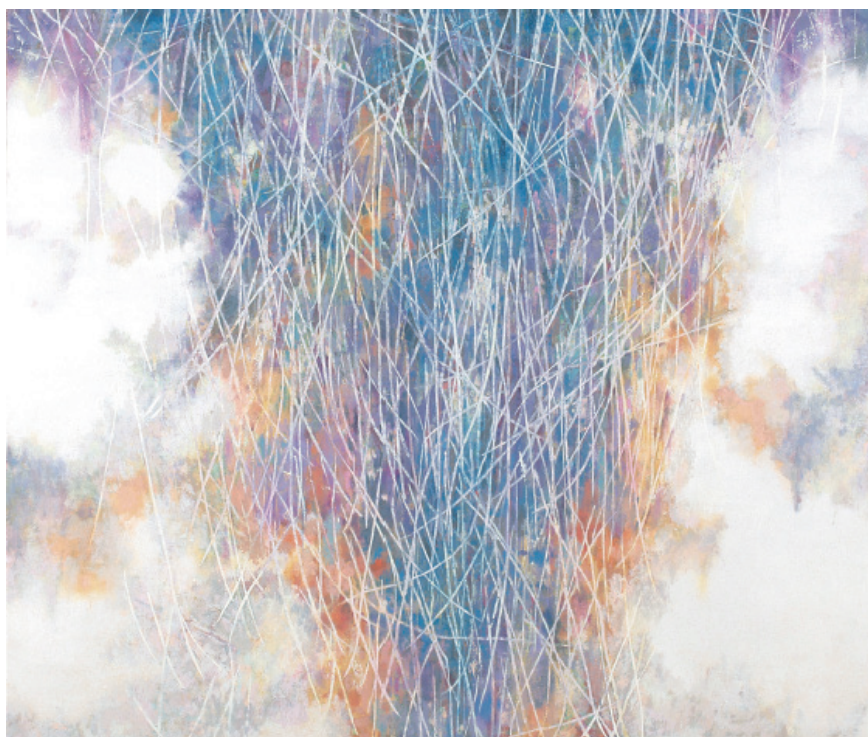
高地 秀明「窓辺の風」2013年



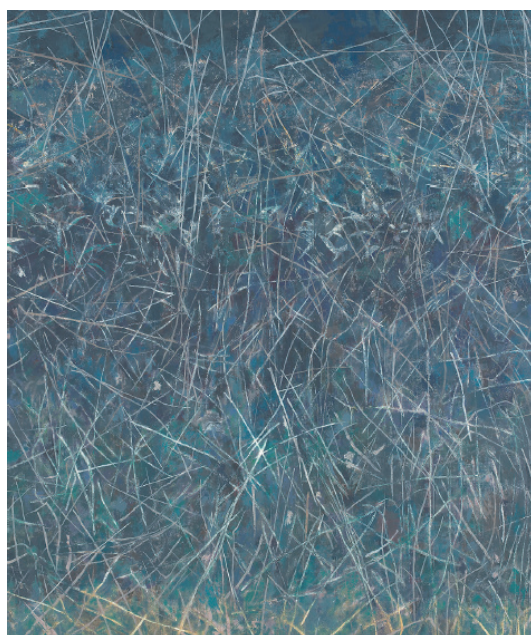
並木 貴子「大地に生きる」2018年



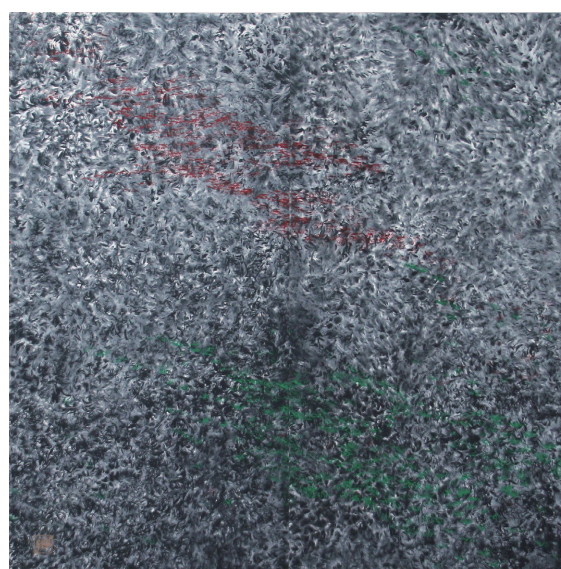
並木 貴子「Earth Now」2017年



橋野 仁史「織りなすもの」2017年



橋野 仁史「痕跡を探し求めて」2018年



椎木 剛「乾坤」2019年



根木 達展「生(き)一意動」2014年

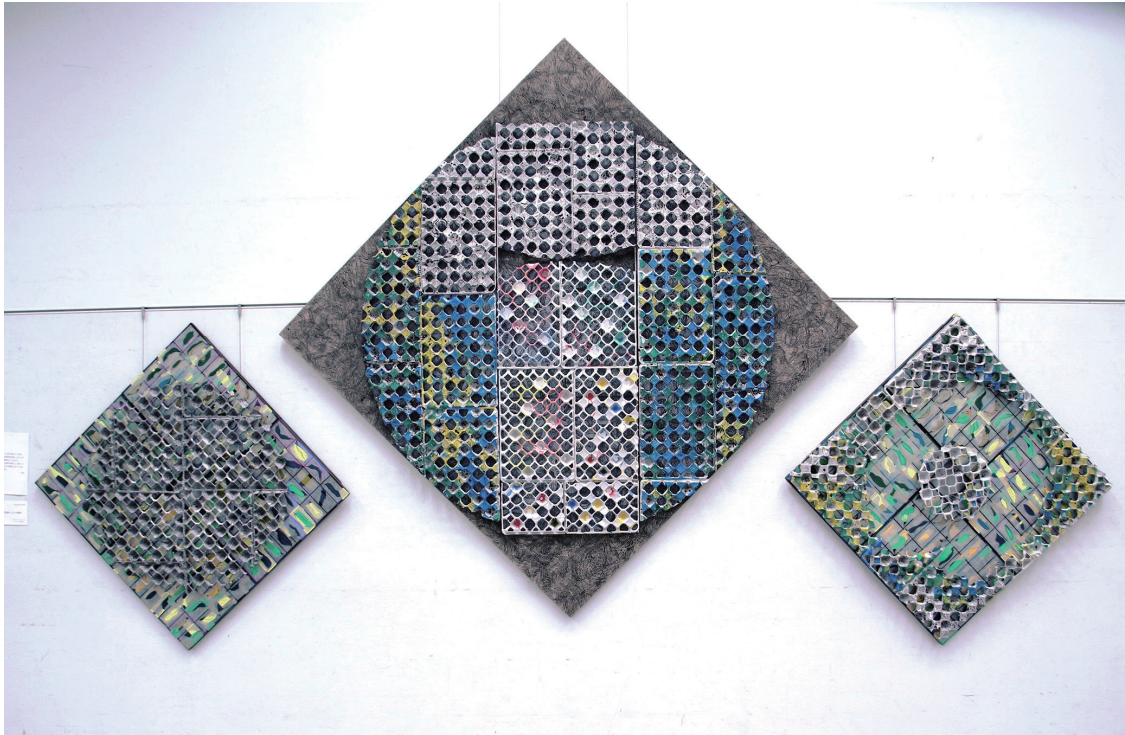


根木 達展「生(き)一擁護」2014年



范 叔如「美しい瀬戸内海」2019年





千田 禅「自然の実り・ヒトの稔り」2019年



広田 和典  
「フレコンバック(富岡駅前)」2018年



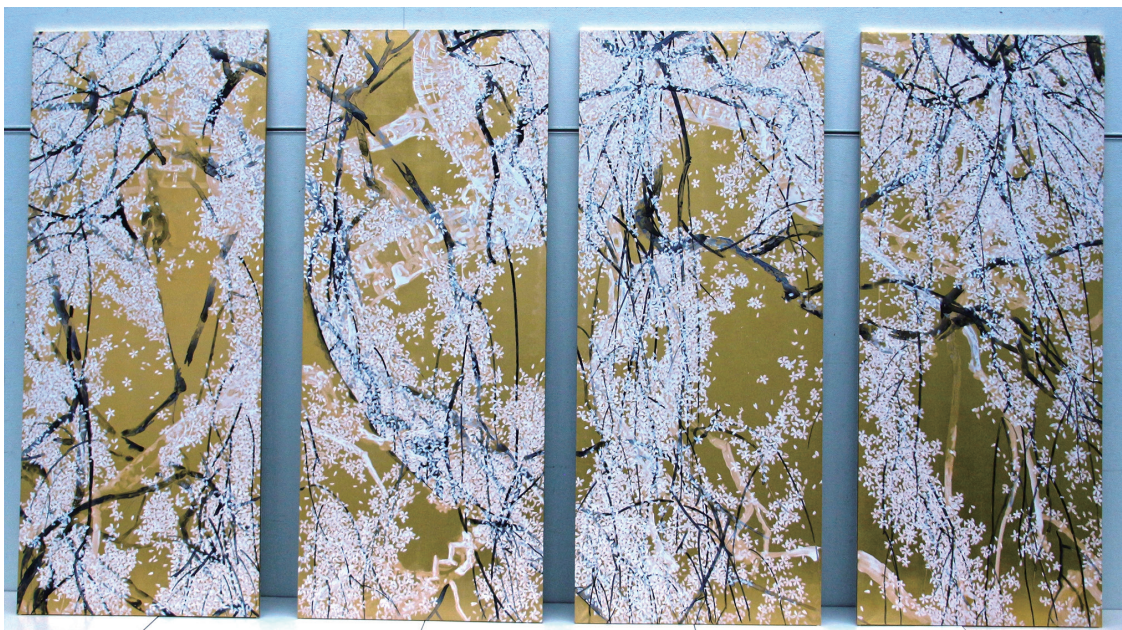
才田 博之「自然と人間の営みの風景」2018年~2019年



藪野 圭一「モシカシテ ヒト ソレトモ シゼン」2019年



渋谷 清「Between」2018年



船田 奇岑「枝垂桜」2018年~2019年